



学校だより

CONTENTS

巻頭言 入学おめでとうございます! / 校長 三谷 卓也	2
特集<入学・進級特集>	
新生へのメッセージ	2
令和6年度本科入学生出身中学校・専攻科出身学科一覧	6
留学生紹介 / 令和6年度行事一覧	7
各学科・専攻科入学にあたり	8
教職員より (各学科・教育研究支援センター・事務部)	14
各学年主任より	19
着任挨拶	20
退任挨拶	23
各施設から	24
学生相談室 / 図書館 / 情報基盤センター / 国際交流室 / ダイバーシティ推進室 / インターンシップ支援室 / 進路支援室 / 産学連携アントレプレナーシップ教育工房	
NEWS&TOPICS	27

第132号

2024.6.24 広報委員会発行



独立行政法人 国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Gunma College

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地 <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

(題字・下田 功 初代校長)

巻頭言

入学おめでとうございます!

校長 三谷 卓也



「難しい…。でも、絶対叶える!」「辛い…。でも、必ずやり遂げる!」と声を出して言い続ける。そうすれば、自分を信じ続け、想いを強めることができ、もしかしたらそれを聞いた誰かが助けてくれるかもしれない、ひいては、夢や目標を「叶える」可能性を高めていくこともできるでしょう。

ぜひ今日から実践してみてください。そして、皆さんの夢や目標を叶えるため、一緒に頑張ってください!

本科および専攻科の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

今年度の新入生は、本科生205名、留学生2名、専攻科生41名、あわせて248名です。

皆さんは、いろいろな夢や想い、目標をもって入学されたことと思います。その夢や想い、目標を叶えるべく、色々なことを学び、経験し、チャレンジしてください。

そういえば、「叶う」という漢字は「口偏」に「プラス」と書きますが、夢や目標を「叶える」ためには、自分を信じ続けること、そしてそれを実際に口にして、想いを強めていくことが、何より重要なのではないのでしょうか。

他方、「吐く」という漢字は「口偏」に「プラス」と「マイナス」と書きます。

辛いときには弱音を吐いてもいいんです。辛いこと、言い訳、そういった「マイナス」なものは、どんどん口に出して、自分の中から追い出してしまいましょう。そうして「マイナス」なモノが無くなれば、残るのは「叶える」べき「プラス」なもの、すなわち、自分の夢や目標です。

マイナスなものを吐き出してしまったら、次は、夢や目標を、それを「叶えたい」という想いを積極的に口にするようにしましょう。

特集 入学・進級特集

入学おめでとう

教務主事 辻 和秀



新入生の皆さん、群馬高専という新しい環境にも慣れてきましたか。本校は、中学校や高校とかなり違う学校です。制服がなく何を着て授業を受けてもよい、規則もほとんどないなど、自由な学校だと感じた人も多いと思いますし、授業時間が90分で大変、実験実習がある、朝のショートHRがない、授業を担当する先生が個性的など、授業に関連してビックリしている人もいるかもしれません。しかし、皆さんにとって本校の最大の特徴は、授業で教える教員が研究者でもある、ということです。授業を教え、部活の指導もしていますが、それぞれ独自の研究分野で研究を行いその成果を発表している研究者だということです。皆さんが5

年生になると、研究者である教員の指導のもと、卒業研究を行います。1年生から研究者である教員に指導を受ける様々な機会が本校にはあります。それは、授業で教えてもらう以上に、皆さんにとって刺激的な経験になるはずです。積極的にそのような機会を利用して、本校で学ぶメリットを最大限に活かしてください。

特集 入学・進級特集

入学おめでとうございます。

学生主事 櫻岡 広



本科および専攻科の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

新型コロナウイルスが5類感染症に移行して1年がたちます。皆さんの生活もほぼ通常通りに戻ってきていると思います。群馬高専での新しい生活を楽しみながら学んでください。

さて、私は高専の教員になって36年目を迎え、あと数年で定年を迎えます。少し振り返ってみると、世の中がすさまじく変化していったことに改めて驚かされます。群馬高専に来て最初に購入したPCは16ビットのPCで記憶媒体はフロッピーディスクです。携帯電話はまだ無く、自動車電話を積んでいる車を見かける

と「金持ちだな～」と思っていました。24時間営業の店舗など皆無で、年末から年始の外食に困ったものでした。

この36年間の世の中の進歩に驚きつつ、便利になりすぎなのではないかという懸念も最近では生じています。便利を作り出す技術者は頭を使いますが、便利を享受する人々は頭も身体も使わない方向に進みます。頭も身体も使わなければ人間は必ず退化していきます。その先はどうなるのでしょうか。私にはわかりません。

ゴルフクラブ設計家の故竹林隆光氏が生前「技術者というのは、これが良いというものを見つけると、それをとことん突き詰めていって、しまいには行き過ぎてしまう。でも、そこで気づいて修正する。」と話していました。

これから先、皆さんはこの学校で学び、社会に出ていきます。この世の中を「便利」なだけではなく「良い」社会にする技術者になってください。

「鉄は鉄をもって研磨する」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。寮務主事としてというより、一人の教員として、皆さんを本校に迎え入れることができ大変嬉しく思います。皆さんはこれから5年間、同じ学び舎で学び、あるいは寮で暮らすことになります。友達が出来れば、一緒に遊んだり、どこかに出かけたりするでしょう。それも良い経験です。しかし、遊ぶときは一緒でも、勉強は一人です、と言う人が増えている気がします。

とある書物にこんなことが書かれています。「鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される」

一人で勉強するよりも、友人と共に学び、時には競い合うことによって、勉強の効果が高まると言えます。それは必ずしも勉強だけではなく、何かに挑戦するときに、同じ目標へ向かっていく

友の存在は、励みになるのではないのでしょうか。友でもあり、ライバルでもあるような存在がいれば、お互いに切磋琢磨しながら高め合っていくでしょう。そんな関係性を築ければ、自ずと充実した高専生活を送れると思います。

寮務主事 佐々木 信雄



専攻科に入学してみて、どうですか？

専攻科長 大境 聡



専攻科1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。入学から2か月が経ち専攻科の講義にも慣れてきたでしょうか。4月当初は、本科の1クラス一斉で基本必修科目という

のとは異なり、多くの選択科目の中から自分に合った講義を選んで履修届を提出するというところに戸惑ったかもしれません。また受講してみて科目によっては受講者が少ないのに驚

いたかもしれません。自分で選択した科目にて専門分野を少人数で学べるのも専攻科の特徴です。一方必修科目の中にはみなさんのキャリア(生き方)を学ぶ科目も用意されています。すでに授業が始まっている企業論や2年生で受講する総合工学では、企業の方を講師に招いての講義となっています。また、必修科目としてインターンシップがあり、今現在みなさん自身でインターンシップ希望先との調整を行っているところでしょうか。

専攻科は、本科4、5年生で学んだことと専攻科の2年間で学んだことで、大学相当の学びができるカリキュラムとなっています。みなさんの将来につながる専攻科の2年間となるようサポートします。期待しています。

The Only Neat Thing to Do for Japan

校長補佐(研究・地域連携推進担当) 市村 智康



新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。新たな環境での生活リズムはつかめたでしょうか。これまでとは違い通学時間も長くなり、また寮生活を始めた学生も多いと思います。一時的に大変な時もありますが、夏休みまであと少し、一踏ん張りしましょう。

さて、皆さんは、西暦2024年の日本が、世界でどのような立ち位置となっているかご存知でしょうか。1990年代初頭、日本は「電子立国」として世界的に高い技術力を誇り、最先端の技術大国でした。しかし、その後のインターネットビジネスにおいて他国に

後れを取り、現在、海外のインターネットサービスが主流となる中で、日本の技術的地位や経済的地位は少しずつ後退しています。例えば、世紀末前夜の1999年、NTTドコモ社は、世界初の携帯型インターネットサービスである「iモード」を提供しましたが、その後のApple社の「iPhone」やAlphabet社 (google) の「Android OS」を搭載したスマートフォンにその先進性を奪われました。そして、今日の主要なインターネットサービスは、基本的に海外の企業によって提供されています。

このような状況を変える唯一の糸口は、若い皆さんの技術力と創造力です。群馬工業高等専門学校は、その名の通り工学の各分野の専門技術を早期に身につける学校です。皆さんは自らの興味、関心のある各分野の基礎技術を学び、日本の将来を切り拓く技術者、研究者となることを期待されています。これからの高専生活が充実したものとなり、将来に向けての貴重な経験となることを願っています。

ご入学おめでとうございます

校長補佐(広報戦略担当) 高橋 徹

本科ならびに専攻科新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。この学校だよりが手元に届く頃には、新しい生活にも少しずつ慣れ、楽しい学生生活を送り始めていることでしょう。

群馬高専は良くも悪くも自由な学校です。学校からの細かい行動指示はほとんどありません。「何かしてみよう」思い立ったらぜひ行動・チャレンジしてみてください。しかし、学業でもスポーツでも、うまくいくことばかりではありません。例えば、勉強しているのに伸びない、頑張っているのに逆にパフォーマンスが下がってしまった。そのようなケースはよく見ます。上達が頭打ちになったように見えるこの現象は「プラトー(plateau)」と呼ばれ、上達過程で一般的に見られる現象です。しかし、プラトー期間は無駄な時間ではなく、上達過程において不可避な現象である

とも言われています。無駄・空回りに感じてしまう時間も、その間、確かに皆さんを成長させているのです。失敗を恐れず、むしろ、失敗を通して成長するくらいの心づもりで、チャレンジを続けてください。とは言いましたが、あまり気負わず、楽しく実りある学生生活を送っていただければそれで良いですし、この上ない喜びです。これから、どうぞよろしく願ひ致します。



人としての成長を!

校長補佐(評価・FD担当) 堀尾 明宏



入学おめでとうございます。群馬高専へようこそ!

この「学校だより」が皆さんに届くころ、少しずつ学校の雰囲気慣れてきた頃だと思います。そして、日々とても新鮮な気持ちで過ごされていることと思います。皆さんにお伝えすることとしては、1つ目として、失敗を恐れず、いろいろなことに積極的にチャレンジし、多くのことを経験して、人として成長していただきたいと

思います。そのためには、混合学級、部活など学科、年代を超えて、いろんな人と交流し、多くの情報や刺激を得てください。

2つ目は、授業は理解できていますか? 自学自習も大切ですが、理解できなければ積極的に先生に、友達に問いかけてみましょう。遠慮は禁物です。わからないままの放置はさらに禁物です。

3つ目は、学校に慣れ始めたら、将来の目標を考えてみてください。また、その目標を実現するためには何をすべきかを考えてみてください。目標があれば前向きに頑張れます。

最後に、5年間は長いようで短いです。今しかできない思い出をいっぱい作って、最後は笑って卒業式を迎えましょう。

たくさんの「好き!」を

後援会会長 吉田 涼子



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今頃は、高専生活にも慣れてきて、初めての前期中間試験を終え、試験結果に悲喜こもこも、といった時期でしょうか。

さて、気持ちを切り替えて…ここからの高専生活の中で、皆さんに育ててもらいたいものがあります。確かな学力!は言うまでもないのですが、それ以上にたくさんの「好き!」という気持ちです。

新入生の皆さんの好きなものは何ですか?

私は、音楽や映画が好きで、漫画や小説が好きで、アウトドアやバイクが好きで、絵や習字が好きで、お酒や美味しいものが好

きで、家族や友人が好きで、猫や犬が好きで…まだまだ数えきれない程のたくさんの「好き!」に囲まれて暮らしています。

皆さんにも、学業はもちろんですが、ぜひ部活動などの課外活動や趣味、友人や恋愛、バイトやボランティアなど、色々なことを経験し、中学生の頃以上にたくさんの好きなものを見つけて欲しいのです。

「好きこそものの上手なれ」と言いますが「下手の横好き」だっていいんです。もちろん、ひとつの「好き!」を極めるのも素敵ですね。好きなものが多ければ多いほど、深ければ深いほど皆さんの支えになり、これからの毎日がより笑顔があふれる楽しく充実したものになると思っています。

私たち後援会は、皆さんの健やかな成長と、実り多き学生生活、そしてひとりひとりの「好き!」な気持ち&夢の実現を全力で応援していきます!!

入学おめでとう!!!!!!

学生会会長 3C 高橋 凌大

新一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学生会長の高橋です。

皆さん群馬高専という新たな環境に胸を躍らせていることと思います。その反面、不安なことや気になることもたくさんあるかもしれません。そんな時は、上級生や先生方にどんどん聞いてみてください。きっと皆さんが楽しい学校生活を送れるように手助けしてくれることでしょう。

学校生活では、勉強の他にも部活や愛好会、行事など楽しいことがいっぱいあります。どの部活や愛好会も楽しく一生懸命に活動しています。是非、自分が本気で楽しいと思えることを見つけて先輩や友達と力を合わせて頑張ってみてください。きっと充実した学校生活を過ごせると思います。

群馬高専の五年間の生活の中で、皆さんの学生生活はまだ始まったばかりです。辛いことや悲しいことがあっても、諦めずに友達や上級生をどんどん頼って一緒に充実した学生生活を送りましょう。皆さんの学生生活が素晴らしいものになることを願っています。



入学式



各クラス正担任からのメッセージと各クラス代表学生の入学にあたっての感想をいただきました。

1年1組



(教員左から、副担任、三谷校長、正担任)

1年2組



(教員左から、副担任、三谷校長、正担任)

Teacher

キャリア形成VSOPの土台作りを

1年1組 正担任 石川 英司

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。イノベーションが生まれ、夢が現実になる群馬高専へようこそ。チャンスを受け入れ、チャレンジを推奨し、共に自己実現を目指しましょう。

みなさんは群馬高専を卒業したのちに、就職や進学を経て社会人として活躍することと思います。ところで、みなさんはキャリア形成におけるVSOP論というのをご存知でしょうか？

仕事をするには、20代はVitality (活力)、30代はSpecialty (専門性)、40代はOriginality (独創性)、50代はPersonality (人間性)が重要であるという先人達の格言です。これらの頭文字をとって、キャリア形成VSOPというのですが、これを実現するには学生時代に培った頑強な土台が必要です。したがって、学生時代は広い視野を持って学業に取り組むと共に、部活動や課外活動も楽しんでください。きっと、社会人となってVSOPを意識する年代になる頃に役立つと思います。

interview

入学を経て

1年1組(機械工学科) 市倉 奈茄

高専について知ったのは小学生の頃でした。中学校卒業後に専門的な知識を学ぶことができる高専にすごく興味を持ち、入りたいなと思い始めました。体験授業で初めて高専を訪れた際には迷子になりそうなくらい広い校舎と多くの設備に衝撃を受けました。

受験期では、「もう勉強やりたくない」と何度も思いましたが、今こうして高専生になることができ嬉しいです。高専生になったからには、受験期以上に日々の継続的な勉強を頑張りたいです。

高専に入学してからまだ数週間ではありますが、日々高専らしさを実感しています。私が最も感じたのは他の高校よりもすごく自由だということです。入学前から自由な風潮だということは認識していましたが、思っていたよりも自由で驚きました。ただ授業をサボるのも勉強をしないのも自由なため、責任感を持ちしっかり自分を管理することが大切だと思いました。高専生活を楽しみながらもきちんと計画立てて過ごしたいなと思います。

高専でしっかりと知識を身につけ、まずは卒業を目指して努力していきます。

Student

Teacher

異なるタイプの人と関わろう

1年2組 正担任 渡邊 悠貴

私の友人の一人にイタリア出身の物理学者がいます。彼は私ならしないような独特なアプローチで宇宙論の研究に臨んでいます。ミュンヘン大学で共同研究を始めた当時は、進め方や考え方の違いからかなり戸惑った覚えがあります。しかし、一日中議論し、計算を進めていく過程はとても刺激的で楽しくもありました。夜はしばしばスカッシュをプレーしたり、その後で酒を飲みに行くと知らない友人を紹介されたりと、振り回されるような日々でもありましたが、違う価値観に触れるとはこのような事なのだと思感しました。

本校には様々な人がいます。考え方や価値観の合う友人を見つけるのも良いですが、そうではないクラスメイトや苦手な科目担当の教員と関わることも同じくらい楽しい可能性を秘めています。ぜひ自分と違うタイプの人と積極的に交流したり、一緒に活動してみてください。自分とやり方や発想が異なっても、それ事態が面白く感じられるかも知れません。もちろん相手に迎合する必要はありません。

interview

重くなったリュックサック

1年2組(電子メディア工学科) 岩下 悠斗

入試も終わり、待ちに待った合格発表の日。私は掲示された紙に自分の名前があることに心躍らせた。入試から3ヶ月がたった今でもその嬉しさはまだ冷めない。

入学式を終えついにやってきた最初の登校日、私は新調したリュックサックを背負い家の玄関に立った。そこで感じたのは春に相応しい暖かさと、中学校より種類が増え分厚くなったテキストの重みだった。

私は実際に講義を受けて、学科ごとの専門的な講義に加え、中学校では一つだった理科が「力学基礎」と「生物」、「化学」に分かれていたりと分野ごとにより細かく学べてとても楽しい!と感じた反面、授業進度が早く内容も難しいので、予習と復習をしっかりして一つ一つ確実に力を身に付けていくことが大切だと感じた。

小学校から中学校そして高専へ、ランドセルから始まりだんだん大きく、そして重くなっていったリュックサック、その重さは自分の「努力」「成長」の証。

これからも努力を忘れず、日々成長しながら楽しく生活していきたい。

1年3組



(教員左から、副担任、三谷校長、正担任)

1年4組



(教員左から、副担任、三谷校長、正担任)

Teacher

interview

Student

「高専」フル活用のススメ。

1年3組 正担任 太田 たまき

この文章を読むころには、新入生みなさんの「高専生活」も軌道に乗り、ちょっとした中だるみの時期になっているかもしれません。レポートと課題ばかりだな、とくに楽しみのないし、などと思っている人は、ぜひ各クラスの掲示物や学科別のホワイトボードに目を向けてください。

群馬高専では、授業以外にも「高専を知ってもらいたい」「いろいろな経験をしてもらいたい」という趣旨のもと、定期的に課外活動や企業・研究機関の見学会などを行っています。この原稿を書いている時点でも、「里山教室」や「研究所見学ツアー」、「語学留学報告会」など、高専ならではの催しものの掲示物があり、みなさんの参加を募っています。受身でいるだけでは世界は開けません。まずは身近な、手の届く範囲でいろいろな経験をして興味の対象を広げるとともに、そういった活動とおして人とのつながりを深めることも大切です。「高専生活」を充実させるためにも、ぜひ、「高専」に入学した特権をフル活用してください！この1年が、みなさんにとって充実した5年間のスタートとなることを祈っています。

溢れかえったエンジニア

1年3組(電子情報工学科) 山田 哲平

この原稿を書くにあたり、群馬工業高等専門学校への入学までご尽力していただいた多くのご親族の方々や先生方に感謝申し上げます。並びに教職員各位、先輩方には、これから大変お世話になることと思います。よろしくお願い致します。さて、題名にもありますように現代を担う事業として急激な成長を続けるIT産業。IT関係の職種と聞くだけでかっこよく、収入に目が眩むのは私だけではないと思います。ですが、ITと括れば全てがイメージ通りとは限りません。それぞれがセパレートされ、枝分かれの連続上に成り立つ職種なのです。ですので収入も大きく異なります。では、向けるべきは職種や収入でしょうか。これは綺麗事極まりないことかもしれませんが、現代の風潮に逆らって、より目を向けるべきチームがあるのではないのでしょうか。

結びになりますが、この一年は多くの媒体を通してそれぞれがより発展していくことを願います。

Teacher

interview

Student

多角的な視野を養おう!

1年4組 正担任 板谷 洋一郎

AIをはじめとする科学技術の進歩に伴い、私たちの暮らしや働き方が変わりつつあります。このような変化の激しい時代では、物事を多角的に捉える視点が重要です。本校での学生生活を始めた新入生の皆さんにも、多角的な視野を養うような活動をしてほしいと思います。

視野を広げるという観点でまず思いつくのは、国際交流です。群馬高専では、低学年向けの短期語学研修が実施されています。実際に海外に行き、現地の家庭でホームステイをしながら、授業だけでなく、様々な場面で英語を使って過ごすことは、貴重な異文化理解の機会になると思います。関心のある人は、説明会などに参加してみてください。

もう一つ実践してほしいことは、1、2年次の混合学級の中に、同じ学科の人に加えて、他の学科の人とも積極的に交流することです。色々な分野を学ぶ人たちと交友関係を築き、様々な見方があることを認識することは、将来、皆さんが優れたアイデアを思いつくきっかけになるかもしれません。

群馬高専で多角的な視野を養って、急激に変わりゆく社会のニーズに応えられるような技術者を目指してください。

「自由な校風に憧れて」

1年4組(物質工学科) 宮下 晴也

私が群馬高専に受験することを決めた理由は、化学を勉強したかったことと、自由な校風に惹かれたことです。「かつー」を見ていたことが良かったのでしょうか。無事入学できました。

高専に入学して一週間目に感じたことは「自由」です。授業は思っていたより短く感じました。二週間目から課題が始まりました。奴らは私たちの時間を奪っていきま。そして、三週間目から、私が所属するK科では実習が始まりました。実習前の課題を終わらせて安心したのも束の間、他の課題が待ち受けています。私の自由は、慣れない課題という「勉強」に侵食されました。

正直、慣れていないこともあってすごく大変です。しかし、先輩方を見ると、課題に追われる素振りも見せず、「いきいき」しています。私もいずれそうなりたいと思い、今は耐えています。

最後に、五年間の高専生活を「留年せずに楽しんで過ごす」ことを目標にして頑張ります。

1年5組



(教員左から、副担任、三谷校長、正担任)

専攻科



(教員左から、副専攻科長、三谷校長、専攻科長、副専攻科長)

Teacher

interview

Student

ご入学おめでとうございます

1年5組 正担任 大森 祥輔

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。また、皆様を支えてこられたご家族や関係者の方々にも心からお祝い申し上げます。

この春、さまざまな夢や目標、思いを抱きながら群馬高専に入学されたことと思います。群馬高専は高等教育機関であり学問を学び専門性を極める機関です。それゆえの新しい学習内容や環境に、戸惑いや不安を感じることもあるかもしれません。焦らずに、自分にできることから始めて少しずつ慣れていきましょう。また、はじめは宿題や課題が多く感じ大変かもしれませんが、学問は決して裏切らないので、健康に留意しながら自分のペースで、しかし、必ずやり遂げることを心掛けてみてください。

混合学級は1、2年生のみです。他学科の学生と触れ合うチャンスなので、このチャンスを有意義に活用し、多様な価値観を育みましょう。一度しかない青春時代に、高校とも大学とも異なる高専を選んだことを、将来に生かすも殺すも自分次第です。皆様にとって実りある高専生活となることを期待いたします。

高専に入って

1年5組(環境都市工学科) 高橋 康祐

群馬高専に入学してから一カ月が経ちましたが、新しい環境に慣れるのには時間がかかります。最初は授業の90分という長い授業や部活動の入部などに戸惑ったり、周囲の人とコミュニケーションもうまく取れないことがありました。しかし、先輩や友達の助けを借りながらも少しずつ慣れ充実した学校生活が送れるようになってきています。

そして勉強面では、中学の時に比べれば何倍も授業の進みが早いことに驚きます。高専では、より深い理解を求められ、自主的に学ぶことが求められます。しかしその分自分の成長も早いと感じています。自由であると言って緩むことなく高専で学べるチャンスを最大限生かしていきます。

将来の夢に向かって頑張り、自分を高めるための努力を惜しまない姿勢を持つことと同時に、学校でできた友達たちとも協力しながら成長して行けるようにしたいと思います。

Student

interview

Student

専攻科に戻りたいなあなんて

生産システム工学専攻 1年 登坂 真伍

本科での研究を2年も延長でき、周りの環境も慣れ親しんだまま。入試も5月で早々に終わる点も踏まえると、高専が性に合っている学生は専攻科進学がとてもおすすめです。デメリットといえば、「どこの大学通ってるの?」と聞かれて困るくらい。まず高専制度の説明から入る必要があるのは、面倒なうえに相手の頭にも結局ハテナが増えます。聞き返しは必至です。

さて、そんな専攻科への入学から早1か月近くが経過しました。各授業はまだ本科の復習が大部分を占めていますが、授業の速度や課題の濃さが徐々に高まっているのを感じ、本科に戻りたいなあなどと早々に思っています。さすがに早々すぎるかもしれませんが、夏にはインターン、来年は学会発表なども控えていて、高度かつ実践的な教育というものを実感している最中です。「喉元過ぎれば熱さ忘れる」というように、2年後大学院進学(あるいは就職)した先で、専攻科に戻りたいなあなんて思えるよう、努力していきます。

卒業しても高専生

環境工学専攻 1年 岩佐 茜

3月の本科の卒業式から半月、まったく同じ場所で挙行された入学式に出席した。専攻科生は教室がなく、入学式当日の集合場所は図書館ホール、5年間よく知った友人と謝恩会ぶりに合流した。専攻科進学と他大学への編入学の大きな違いは、もちろん卒業研究の継続であるが、あらかじめ知った仲間の有無も学校生活において大きな意味を持つと感じる。

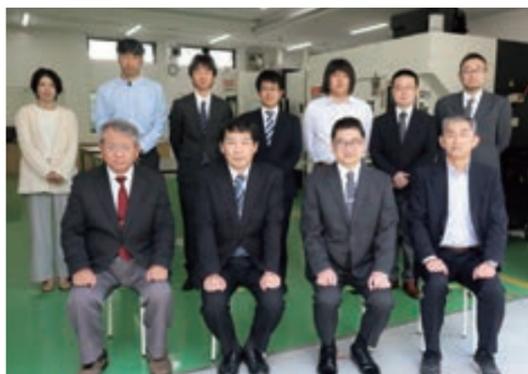
さて、入学してから1か月が経とうとしているが、現在痛感しているのは課題の多さよりも、著しい体力の衰えである。本科5年生では、授業時間帯の多くが卒業研究にあてられているため、曜日によっては授業が1コマのみであった。一方、専攻科では5年生の生活とは一変し、授業の選び方によっては4コマ全て授業の曜日があり、時にはそのあとに特別研究を行わなくてはならない。早くこの生活に慣れたいと切望する今日この頃である。

最後にはなるが、2年後の3月には幅広い知識と深い専門性を身につけ、小学校よりも長い高専生を卒業できるよう、今から多くのことに挑戦し、充実した高専生活を送りたい。

各学科の先生からメッセージをいただきました。

機械工学科 努力できること

機械工学科長 平社 信人



1年生のみなさま、保護者のみなさま、ご入学、おめでとうございます。

機械工学科では、それぞれの専門分野を有する10名の教員がおり、力学を中心とした専門科目をはじめ製図やメカトロ系科目などを担当します。

工作実習などの実技科目や、設計製図などの実践科目も充実しており、座学だけでなく機械設計に必要な技能についても学習します。

これらの科目を学習し、修得するうえで、日々の勉強習慣が必要となります。中学校までは、さほど勉強時間を確保しなくても、ほどほどに成績を維持できていた人もいたかもしれません。しかし、高専では、高度な学問を学び、急速に変革する社会に対応できる技術者になるために、「努力すること」が求められます。

早期に安定した自分の学習スタイルを確立し、十分な勉強時間を確保してください。スポーツの世界でも、芸術の世界でも、言えることですが、努力できることこそが才能と考えます。

さいごになりますが、みなさんのやりたいこと、かなえたい夢の実現をお手伝いできればと思っております。5年間、楽しい高専生活にしていきましょう。

電子情報工学科 AI使います？それとも作ります？

電子情報工学科長 大豆生田 利章



電子情報工学科新入生の皆さん、まずはおめでとうございます。しかし、高専入学はあくまでも通過点で目標ではありません。これからが本当の勉強の始まりです。

さて、最近では情報技術関係で人工知能(AI)が話題の中心になっています。情報工学を学ぶことで、誰も考えつけない新しいAI技術を開発することができるかもしれません。また、AIチップ(AIを一つの部品で実現したもの)を作る技術の開発も進んでいます。電子工学を学ぶことで、斬新で高性能なAIチップを作ることができるかもしれません。

ところで、今話題の生成AIは質問すれば、答が返ってくるので、とても便利です。でも、今までのデータをもとに答を作っているのだから、間違いもあるし、新しい技術を生み出すにはほぼ無力です。本当に新しいものは人間の頭で考え、人間の手で作るしかないので、だから、電子情報工学科での勉強に励んでください。

もちろん、電子情報工学の対象は非常に広範囲で、世の中すべてであるといってもよいです。AIに限らず電子情報工学の広大な世界に触れて下さい。

電子メディア工学科 電子メディア工学科新入生の皆さんへ

電子メディア工学科長 富澤 良行



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学から2ヶ月ほどが経ち、最初の難関である中間試験も終わり、高専での勉強・生活に慣れてきたことと思います。

電子メディア工学科(E科)は、エレクトロニクスに関連する分野の学問(電子が絡む物理現象を、ものづくりに応用する勉強)を行う学科です。2024年はAI元年になるといわれ、生成AIが一般に普及し始めた年となるでしょう。そして、もちろんこのAI関連の基礎技術もE科に係る分野です。E科では、「社会の変革に負けない技術者を育てる」ために、基礎学力の習得に重点を置いた講義や実験実習を行っています。さらに、専門科目として、「電子材料」・「情報通信」・「エネルギー」の3分野を中核に置き、基礎から応用までを系統的に学び、高学年に進むにつれ専門科目が多くなるように楔(くさび)形に授業科目を配しています。専門を修めるには、基礎からの地道な積み重ねが必要です。皆さんには、毎日の継続した地道な学習を期待します。

E科は、学習内容の成果が社会のあらゆるところに生かされ、日々の生活に潤いを与え、生活がこの上に成り立っていることが実感できる学科です。E科学生の将来の姿である科学技術の研究・開発・製造に携わる者は、学習内容の成果が日々の生活に役立っている光景を目の当たりにしています。研究者・技術者の冥利に尽きるところです。皆さんもぜひこの醍醐味を味わってみましょう。

物質工学科 ご入学おめでとうございます

物質工学科長 羽切 正英



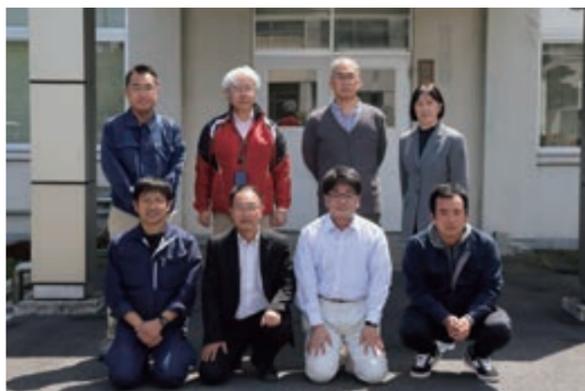
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。物質工学科教員一同、皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

物質工学科での学びの中心となる学問は「化学」です。専門科目では、化学を通じて様々な物質の構造や性質、それらが表れる背景について理解を深め、さらにその理解を基に材料化学や生物工学にも知識を広げていきます。化学を学んでいくと様々な物質や現象に出会うこととなりますが、これらは多岐にわたり、全てを完全に記憶することは不可能です。ですので、単なる記憶ではなく、広い視点を持って規則性や法則性、分野間のつながりを考慮しながら理解していくことが非常に重要になります。

近年では、材料科学に人工知能等の情報技術を統合し、データベースから材料の設計や開発、最適化、反応予測などを行うマテリアルインフォマティクスの研究が加速しています。AIによって画期的な新材料が容易に発見されるような未来はもう、目の前にあります。化学やバイオの世界がどのように変革していくのか予測するのも、ますます難しくなりますが、そのような未来に備えるためにも、しっかりと知識を身につけていくことが重要です。私たちと共に学んで成長し、未来を切り拓いていきましょう。

環境都市工学科 Civil engineerへの扉を開こう!

環境都市工学科長 谷村 嘉恵



新入生の皆さん!ご入学おめでとうございます。この「学校だより」を読む時には入学式から二カ月ほど経ち、中間試験も終わる頃でしょう。90分間の講義は慣れたでしょうか。試験の結果はいかがだったでしょうか。専門科目に興味を持ってそうでしょうか。素晴らしい資質・能力、そして可能性を持っている皆さんなら、新しい環境に馴染み、独自の学習法を見つけ、主体的・能動的な学びの中で身に付けるべき力を自分のものにしていけるでしょう。

皆さんの学校生活を支えているものの一つ目が、自然と調和し広々とした校舎や道路、快適な空調、自前の上・下水道などのインフラであり、二つ目が、知識と技を教えてくれる教員・技術職員および学習環境を整えてくれる職員です。環境都市工学科では、インフラに関する材料・土質・水工・構造・都市・環境などのCivil engineerになるために必要不可欠な知識を学びます。そして、実験実習や総合プロジェクトなどのグループワークを通じて、Civil engineerの持つべき武器であるコミュニケーション能力を養っていきます。これからの高専生活の中で様々なことを体感しましょう。環境都市工学科教員一同がどんなときでも皆さんを支え、皆さんがCivil engineerに成長していけるように応援します。

一般教科(人文科学) 「芸術は長く…」

一般教科長(人文科学) 宮川 剛

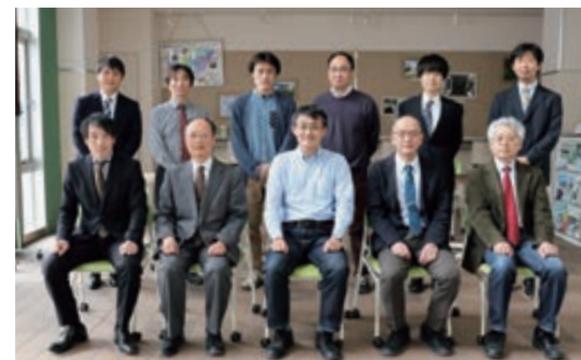


「芸術は長く、人生は短し (vita brevis, ars longa)」という言葉があります。昨年亡くなられた音楽家の坂本龍一さんが好んだ言葉でもあります。実はこれは古代ギリシアの医学者ヒポクラテスの言葉をラテン語訳したもので、もとの意味は「人生は短く、技術は長い」だそうです(ラテン語のarsは元来技術という意味です)。意識すると「人生は短いのに、技術を修得するには長い時間がかかる」くらいの意味で、「少年老い易く学成り難し」という中国のことわざに近いかもしれません。

ヒポクラテスが活躍した約2400年前と比べ、現代の科学技術はまさに長足の進歩を遂げていますから、一層「人生は短い」と感じることでしょう。みなさんの中には、焦るあまり、人文系の科目の勉強に費やす時間を短くしたいと思う人がいるかもしれませんが、ここに落とし穴があります。技術の修得に費やす期間が長いからこそ、国語、英語、社会の授業で培った教養や言語力、体育の授業で鍛えた逞しい心身が、息の長い修練を支えてくれるのではないのでしょうか。長期的な視野に立って、気を長くもって学んでいきましょう。人生は長い、長い持久戦なのです。

一般教科(自然科学) 希望に向かって、ただひたすら…

一般教科長(自然科学) 宇治野 秀晃



最近、井上靖の「あすなる物語」を読みました。若木ときには見分けのつきにくいヒノキ(檜)とあすなる(翌檜)。立派なヒノキの大木に憧れて、あすなるは、あすはヒノキになろう、あすはヒノキになろうと一生懸命考えます。しかし、あすなるがヒノキになることは、決してありません。そんな「哀しい」あすなるではなく、自分はヒノキの子であってほしい。そうひそかに願う、臆病な自尊心、尊大な羞恥心ともいうべき部分を、誰しも持っているのではないのでしょうか。その一方で、自らを省みると、自分はただひたすら一生懸命

なあすなるでさえない、と思知らされることも「あるある」でしょう。ときに舞い上がり、ときにへこみつ、それでも、希望に向かって、ただひたすら…。一生懸命の日々を送ってください。神ならぬ私たち人の子がヒノキになることは、もしかしたら永久にないのかもしれませんが、それでも立派なあすなるになることは、可能だと信じます。私は、あすなるがヒノキに比べて見劣りする木とは、思いません。

教育研究支援センター 教育と研究と夢へのチャレンジをサポートします!

教育研究支援センター長 木村 清和



本校には学生・教員の研究と授業と夢の実現を支援する教育研究支援センター(以下、支援センター)があります。支援センターはいろんな専門分野の技術を身に着けた19名の技術職員と知財に詳しい産学連携コーディネータで構成されています。みなさんが授業をより安全に、かつ深く学べるように適切な助言を行い、より良いサポートを心がけています。実験実習で困ったことやどうしてよいかわからない場合は是非、技術職員に声をかけてみてください。

また、作ってみたいものがある場合にも技術職員に相談してください。きっと、アントレプレナーシップ教育工房を利用して、学生の試作や発案を具現化するチャレンジを技術職員とコーディネータにサポートしてもらえますよ。高い技術を持っている技術職員を頼って、もっと積極的に夢の実現にチャレンジしてください。支援センターはみなさんに寄り添った支援を心がけています。

新学年になった学生へ、学年主任の先生方からメッセージをいただきました。

総務課(総務)

「総務課」は、皆さんの充実した学生生活を演出します!



総務課長 海津 守

新入生の皆さん、厳しい入学試験に合格し、群馬高専へご入学されましたこと、誠におめでとうございます。本校は、我が国に初めて高専制度が創設された昭和37年4月に、第一期校である全国12校の一つとして、開設されました。このような伝統ある群馬高専へようこそ!

皆さんは、中学生生活をコロナ禍でスタートし、いろいろな制限のある中で中学校生活を送られたことと思います。しかし、本校でのこれからの学生生活は、先輩や友人、そして先生方とともに、大いに楽しみ、活動的に過ごしていただきたいと思ひます。

総務課は、学生の皆さんと直接的に接することの少ない部署ですが、皆さんの学生生活に密接に関わる仕事をしている部署です。具体的には、皆さんの快適な学生生活に欠かせない学内施設や環境の整備に関する事、学校運営全体にかかる規則や予算に関する重要な事、学校で必要な物品の購入など財務に関する事、入学式・卒業式などの諸行事や、学校の広報活動・地域連携に関する事など、総務課では幅広い業務を行っています。

群馬高専の主役である皆さんが、より充実した学生生活を送ることができるように後方支援をし、陰ながら演出をさせていただいているのが、総務課の職員と言えるのではないのでしょうか。

皆さんの5年間の高専生活がより良い学生生活となり、皆さん一人ひとりが、本校での目標に近づき、達成できるように、総務課の職員一同、頑張っ参ります。どうぞよろしくお願ひします。

総務課(財務)



学生課

「学生課」を紹介します。

学生課長 阿部 彰

学生課は、皆さんがより良い高専生活を送れるよう、毎日サポートを行っています。学生課には、教務係、学生支援係、国際交流係、図書係の4つの係があります。入学試験から始まり、卒業や進学までの間の全て学生生活に携わっています。授業はもちろんのこと、学校行事、課外活動、海外留学などの国際交流、保健室での健康管理、学生相談室や学生寮でのサポートも行っています。

ここ数年の間は、新型コロナウイルスの感染拡大により、授業や行事などが一部制限されていましたが、現在は通常の学生生活に戻ってきています。

学生生活や寮生活で、ストレスを感じたり、悩み事を抱えたりすることがあるかもしれません。一人で悩みを抱えず、担任の先生、保健室や学生相談室を利用して、誰かに相談するようにしてください。また、学生課事務室でも相談対応をしていますので、どんな些細なことでも構いませんので、気軽に声をかけてください。

2学年

字は丁寧に

第2学年 学年主任 田貝 和子

担当している言語文化では古典、小説、韻文を扱いますので、辞書が必要になります。電子辞書でも構いません。手元がない学生は写真の辞書を参考に、私が項目執筆している辞書もありますので、ぜひご購入ください。他の科目でもわからないことは小まめに辞書を引くことを心掛けましょう。

授業では丁寧な字で書くことの大切さを伝えています。提出物は自分以外の人も読める字で書く必要があるからですが、書いた本人でも読めなさそうな字の人もいます。専攻科の優秀な学生に個別指導をお願いしていますが、途中計算式を丁寧に書くことの重要性を指導していると聞いています。自分のためにも丁寧に書くことは大切なのですね。



3学年

18歳になる年

第3学年 学年主任 森田 年一



皆さんは高専3年生で、今年度の誕生日で18歳になります。長い人生の中で「18歳になる年」は、どのような意味を持っているのでしょうか?

皆さんは5年制の高専に通っているのですが、皆さんと同じ年の多くの高校3年生は、この1

年で自分の人生の進路選択をします。医師になりたい人は医学部へ、弁護士になりたい人は法学部へ進学します。美容師になりたい人は美容学校へ進学し、寿司職人になりたい人は有名店で板前修業を始めます。

このように、18歳になる年は、自分が生涯に渡って歩む道を決める年であるということです。皆さんも、来年の4年生への進級に向けて、これまでの1年とは意味合いが異なることを認識し、自分の進路・将来ビジョンを考えてみてください。

4学年

自分のペース・やり方で

第4学年 学年主任 宮里 直樹



高専の4年生では、より多くの大学レベルの授業が加わります。また大学1年生と同じ年齢になり、より自分の学び方を身に付ける重要性が増します。

私自身も、学生の時には勉強の質の違いに戸惑い、自分に合う勉強方法を身に付けることに苦労しました。友人には一夜漬けでテストに合格する人もいましたが、私は一つひとつコツコツとやるしか

ありませんでした。もしかすると、一夜漬けに見えた友人も、見えないところでは地道にやっていたのかもしれない。

少しずつ、継続してすることは、結果がいつ出るのかわからず、精神的にも堪えますが、本当に力はつきますので、たまされたと思ってやってほしいです。

高専4年生は皆さんの転換期となる時期かもしれません。就職希望の学生は、インターンシップを始めとした実質的な就職活動が始まります。進学希望の学生も、受験に向けた対策を本格化させる時期になります。

今年の年末、皆さんが「私は進学なのか、就職なのか、まだ迷っている」とならないよう、4年生担当の先生方と協力してサポートしたいと思います。

5学年

自分を知ろう

第5学年 学年主任 五十嵐 睦夫



コロナ禍で入学したこの学年も、卒業を迎える学年になりました。入学当初に遠隔授業を余儀なくされた環境の中で、どれだけ成長できたかが問われます。振り返ってみると学習への影響は意外と限定的であったようでしたが、進学や就職が直近に迫ったこの時期に至って、もしかすると影響があったのかもしれないと思うことが

がありました。それは、社会への関心、それをもたらす経験です。

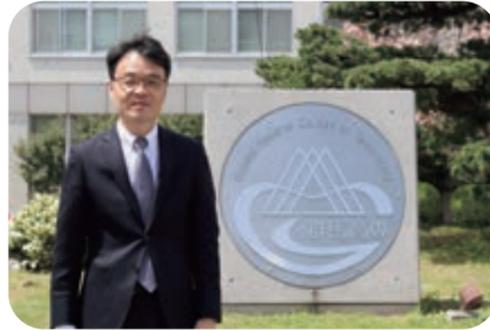
仕方なかったことですが、高専の在学中程まで行動制限がかかっていました。その影響は、社会的な視野が狭い状態の学生の存在という形で現れているようにも思えます。自分の真の姿は社会を鏡として初めて把握できることも多いので、社会の近くに身を置いた実際体験の機会が減ったのは残念なことでした。

人間が最後まで把握しにくいのは、自分自身のことです。自分自身がわからないと、何を指したら良いのかも見誤ります。外の世界を知りましょう。今年の目標はズバリ、脱井の中の蛙です。

Arrival greeting 着任挨拶

高等学校から高等専門学校へ

一般教科(人文科学) 准教授 **難波 宏彰**



本年度4月より一般教科(人文科学)の准教授として着任いたしました。難波宏彰(なんばひろあき)と申します。約25年間高等学校の現場で国語・芸術書道の授業と、日本の古典である中世和歌文学の研究をし、国語教育の分野にも着目してきました。

高等学校では、国語の教科書の編集、国語教育を中心とした教科横断型の授業や「総合的な探究の時間」、新聞を授業に取り入れたNIE(Newspaper in Education)の教育実践等、幅広い教育の実践を行うことによって、生徒とともに教育に対する考えを深めることができたと感じています。

専門分野の中世和歌文学は『新古今和歌集』の時代を主に研究をしています。「歌かるた」で有名な小倉百人一首が編まれた時代です。情調的・幻想的・絵画的といわれる「新古今調」の和歌に惹かれたのだと思います。特に「後鳥羽院宮内卿」「式子内親王」という女流歌人を研究の対象にしています。

今まで言葉に関して多くの経験と研究をしてきました。その中で感じたことは、世界は、言葉によって切り分けられているのだということです。日常使われている言葉も、また、プログラミング言語にしても言葉(言語)がなければ、相手、事象や物を認知し、理解し、意識することはできません。幅広く学び、伝える精度を上げていくそれがよりよく生きていくことなのだと思います。

これから、授業やHR、部活動などを通じて群馬工業高等専門学校の学生の皆さんと一緒に学んでいくことを楽しみにしております。今後ともよろしく願います。

Profile

- 1 出身地 福島県郡山市
- 2 前職 郡山女子大学附属高等学校 教諭
- 3 最終学歴 二松学舎大学大学院 文学研究科 博士後期課程単位取得満期退学 学位：修士(文学)
- 4 研究分野 中世和歌文学
- 5 趣味 自然の中を散策すること
- 6 座右の銘 誠実

研究者たり、教育者たり、

一般教科(自然科学) 助教 **奈須田 祐大**



本年度4月より本校の一般教科(自然科学)に助教として着任しました、奈須田祐大と申します。数学を担当します。昨年度までは博士課程の学生でした。専門分野は数学と物理学の境界領域にあたる数理論理学で、物理学で出てくる方程式の解に関する研究を行っています。

研究をしていると、しばしば海外に行く機会に恵まれます。私自身、大学院在学中にはブラジルをはじめ5ヶ国を訪れました。現在、高専でも国際化が叫ばれているようで、私のこうした経験も活かしていけたらと思っています。ところで、外国に滞在すると、その国のことを知ったり自国のことを再認識したりするのはもちろん、自分自身の新たな側面にも気付かされます。その国の人々の気質によって引き出されるのでしょうか、それとも話す言語でしょうか。ともあれ、これも外国を訪れる楽しみの一つです。

ちなみに、題名は『シラノ・ド・ベルジュラック』の一節「哲学者たり、理学者たり、」をもじったものです。研究に教育に、と多方面での活躍が求められる高専教員という職にぴったりな一節だと思います。

新任で分からないことも多くご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思いますが、群馬高専の一員として早く皆様のお力になれるよう努めてまいります。学生及び保護者の皆様、教職員の皆様、これから、どうぞよろしく願います。

Profile

- 1 出身地 福井県福井市
- 2 前職 博士後期課程学生
- 3 最終学歴 東京理科大学大学院創域理工学研究科先端物理学専攻博士後期課程 修了 学位：博士(理学)
- 4 研究分野 数理論理学、理論物理学
- 5 趣味 海外ドラマ鑑賞、万年筆、パンダ観覧
- 6 座右の銘 After all, tomorrow is another day.

教員として、数学者として

一般教科(自然科学) 助教 **伊城 慎之介**



本年度より、一般教科(自然科学)助教として着任しました伊城慎之介と申します。昨年度までは東京工業大学の博士後期課程の大学院生として、数学の研究に励んでおりました。教員として働くのは群馬高専が初めてで、不慣れなこともたくさんありますが、頑張っていきたいと思っています。

数学を研究していると、よく家族や友人から「数学でまだ研究することなんて残っているの?」と聞かれます。紀元前から始まって、人類の歴史と共に発展してきた数学ですが、実はまだまだわかっていないことばかりです。最近の数学の研究では、わたしたちと馴染み深くなってきたAIや暗号理論など、日常の中で使われているさまざまなものとの関係も明らかになってきました。それでもまだまだ発展途中です。

この世界はさまざまな数学の理論を通して創られています。その理論を発見し、理解することが数学の研究です。私が見てきた世界を、授業の中で、日頃の交流の中で、皆さんと共有できればいいと思っています。教員としても研究者としてもまだまだ駆け出しですが、どうぞよろしく願います。

Profile

- 1 出身地 東京都
- 2 前職 東京工業大学 大学院生
- 3 最終学歴 東京工業大学理学院数学系数学コース 博士後期課程修了 学位：博士(理学)
- 4 研究分野 代数学、可換環論
- 5 趣味 サッカー、読書(といっても数学の本か漫画ばかりですが・・・)
- 6 座右の銘 古きを温ねて新しきを知る

群馬高専に着任して

教育研究支援センター 技術専門職員 **井谷 武史**

今年4月に教育研究支援センターに着任いたしました井谷武史と申します。3月までは明石高専に勤務しておりました。また、人事交流により舞鶴高専で勤務したこともあります。群馬高専では主に電子情報工学科の実験実習支援を担当いたします。

群馬高専に来て感じたことは、キャンパスが広々としていて緑が多く、自然が身近にあることです。また、前任校は4学科だったので、5学科ある群馬高専は学生が多く、課外活動が活発な印象を受けます。初めて教室に行ってみると、どの学生も真面目で私語がなく、先生の話を理解しようとする真剣な姿勢がうかがえました。また、学生の実験に対するひたむきさには目を見張るものがあります。こちらの説明がなくても学生が自主的に実験を進めていくことは、高専に勤務してから初めての出来事で感心いたしました。

まだ群馬高専に来たばかりで至らない点が多々あるかと思いますが、微力ながら貢献できるよう努めたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

マナブと書いてガクと読みます

教育研究支援センター 技術職員 **小林 学**



令和6年4月から教育研究支援センターの技術職員に着任致しました小林学(こばやしがく)です。主に機械工学科の実習等の支援を担当致します。どうぞよろしく願います。

私は平成26年度入学の群馬高専M科既卒生です。卒業後は大学編入学を経て3年間のメーカー勤務経験があります。学生の皆様に対して、メーカー勤務経験を活かした充実した技術面でのサポートは勿論のこと、既卒生であるからこそ取り組むことのできる学生生活・精神面でのサポートも行っていければ良いと考えています。

立場も状況も変わった群馬高専での生活に戸惑う日々ですが、早く新しい生活に慣れて皆様のお力になれるよう、努力していきたいと思っています。よろしく願います。

32年振りの群馬高専

事務部長 吉井 博幸



4月1日付けで小山高専から着任いたしました吉井と申します。実は群馬高専での勤務が32年振りになります。平成元年4月に群馬大学の職員として採用され、同年5月に群馬高専の会計課に異動し、平成4年3月まで一般職員として勤めておりました。当時は電子情報工学科棟が真新しく、工業化学科の物質工学科への改組準備を進めていた頃でした。そして、縁あって今回また群馬高専で勤めることになりましたが、定年も近づいた年齢となり、新人の頃勤務していた群馬高専で事務部長として再度勤務することができたこと感慨深いものがあります。教職員や学生の皆様のお役に立てるよう微力ながら力を尽くして、お世話になった群馬高専のために仕事をしていきたいと考えておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

高専生活は、人生の土台づくり

総務課長 海津 守



長岡高専OBです。警察で化学捜査がしたくて工業化学を専攻しました。卒業後、法律にも関心があり法学の基礎を学び県警の採用が決定しましたが、危険が伴う職業だと親の反対に遭い、巡り巡って国立大学に入職しました。その後、旧文部省で大学審議会や私学助成の仕事に携わり、九州大学など大学勤務を経て、平成30年4月から東京高専、令和3年4月から佐世保高専で勤務し、今春本校へ着任しました。高専OBでは異質ですが、高専生だった視点で皆さんの支援ができると良いなと思っています。高専での5年間は、【人生の土台づくり】の時期だと思います。生涯の友や人生の師に出会い、良書に触れ、親の有難みやお金の大切さを知ることでしょう。皆さんに素敵なお高専ライフを提供できるように頑張ります。よろしくお願ひいたします。

「皆さんをサポートします。」

学生課長 阿部 彰



令和6年4月1日付けで着任いたしました、学生課長の阿部です。3月末までは、群馬大学昭和地区事務部学務課で医学部(医学科、保健学科)及び大学院(医学系研究科、保健学研究科)の学務関係の業務を行っていました。群馬高専での勤務は4年ぶりとなります。以前は総務課(財務)で財務関係の業務を行っていましたが、今回は学生課でお世話になります。皆さんの学生生活や研究活動がしやすい環境づくりに努めていきたいと思っています。

これまでの職務経験を活かしながら、在校生、卒業生、教職員の皆さんと共に歩みながら取り組んでいきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

「頼りになる」を目指します

学生支援係(看護師) 中嶋 明里



令和6年4月から保健室の非常勤看護師として勤務させていただくことになりました中嶋明里です。私も工業高校を卒業しており、学生時代は群馬高専のオープンキャンパスなどに参加させていただいたことがあります。この度ご縁があり、看護師として高専で勤務できることをとても嬉しく思っております。

学校保健室での勤務は初めてではありますが、学生さんや保護者・教職員の皆さんにとって「頼りになる場所」として保健室があるよう精一杯の努力をしております。まずは群馬高専のことをたくさん知ることができたらと思っていますので、気軽にお声かけしてくれれば嬉しいです。よろしくお願ひいたします。

退任の挨拶

群馬高専に8年在職しました。所属したC科の教職員の関係はとて良好で、学生の対応もC科として組織的におこなうことができ、申し分のない職場でした。短い期間でしたが、校長先生はじめ多くの教職員の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。

初めて担任をした2020年3月の卒業生は、今も付き合いがあり、最近はお礼のメールも増えてきています。WiCONやプロコン出場もよい思い出です。自分たちのアイデアを他人が評価すること、会場で他高専と競い合うことにより、学生が瞬時に成長する様を見て“学生のやる気を引き出す”ことが教育と感じました。

バレーボール部顧問も8年続けました。高専地区大会の決勝リーグに一度も進めなかったチームが、決勝で木更津高専に勝ったときのことは、いまでもよく覚えています。

前環境都市工学科 教授 先村 律雄
(木更津工業高等専門学校長)



その後2年間、決勝で木更津高専に連続負けています。この4月1日から、その木更津高専に勤務することになり、不思議な因縁を感じています。

木更津高専は、高台に位置するため必ず坂道を使うことになります。校内も起伏が多く、1階と思ったら2階になっているので、初めて来られる方は迷うかもしれません。また、校舎から赤城・榛名のような山は見えません。

木更津高専から、アクアライン・関越道を使うと2時間半程度で群馬高専に行くことができます。これから、群馬高専といろいろな交流ができればいいなと思っていますので、今後もよろしくお願ひいたします。

短い間でしたがお世話になりました

前電子情報工学科 助教 李 沛讓



さらに進めていきたいと思っております。この一年間は本当に教職員の皆様、学生の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

群馬高専では初めて教員の経験をさせていただき、教職員の方にご迷惑をおかけしながらも多くのことを勉強させていただきました。令和4年度、学生から先生の立場になり、担当科目の準備や研究室の運営など多くのことを両立して進めることが大変でしたが、学科の先生方によく相談に乗っていただき、先生たちの経験やアドバイスを参考にしながら、なんとか乗り越えることができました。短い間でしたが群馬高専では本当にかげがえのない経験をさせていただきました。

この度の退職に伴い、教職員の皆様方にはご迷惑をおかけしたかと思っております。これからの新しい職場では群馬高専での経験を思い出しながら、自分の研究と教育を



各施設から

● 学生相談室

学生相談室より

学生相談室長 伊藤 文彦

皆さんは多かれ少なかれストレスを感じながら過ごしています。適度なストレスであれば成長に役立つのですが、ストレスが多すぎてしまうと登校するのが嫌になってしまうこともあるかもしれません。ストレスが多いかなと感じた時は、生活のリズムが崩れる前に学生相談室を利用してください。さて、今号では親身に学生のよきアドバイザーになっていただいている公認心理師・認定学校カウンセラーの内山彰先生をご紹介します。



● 相談室カウンセラー紹介

公認心理師の内山彰です。私は元高校教員で、現職時は担任や教育相談系の活動を長くしていました。退職後は、県のスクールカウンセラー(SC)として、小・中学校に勤務し、特に中学校で不登校の事例を多く担当しました。青年は、発達上の課題が多く、動きが取れなくなることがあります。そのような時には、本人からの相談とともに、家庭、学校、SCが早期に連携して確実に対応することが大切です。不安や心配がありましたら、事態が悪くなる前に予防の面でもなるべく早く相談していただければ幸いです。よろしくお祈りします。

学生相談室を利用しよう

《学生相談室を利用するには》

◆保健室に連絡してください。
(保健室でも相談できます。)
☎027-254-9065(相談員 藤川(看護師))

◆保健室が不在の際は、インターカーに連絡してください。
インターカー 学生課学生支援係
☎027-254-9058(学生支援係インターカー)
※インターカーとは・・・
相談を希望する学生や関係者の話を最初に聞き、援助のしかたを判断する人のことです。
話の内容によっては適切な相談先(カウンセラー・相談員・校医など)に取りつきます。

◆電子メールでも予約できます。
✉ soudan@gunma-ct.ac.jp

◆家族の方からの相談も受け付けています。

《開室日と担当者》

- 月曜日 15:00~18:00
坪田カウンセラー
- 火曜日 15:00~18:00
中村カウンセラー
- 水曜日 13:00~16:00
内山カウンセラー
16:00~18:00
坪田カウンセラー
※毎月第3水曜日開室
- 木曜日 15:00~18:00
中村カウンセラー
- 金曜日 15:00~18:00
内山カウンセラー
- 相談室員については、
教員室や保健室で相談出来ます。
- 不定期(必要に応じて)*要予約
河合カウンセラー

● 図書館

理系の皆さんにはとても大切なことです。

図書館長 田中 英紀

日本語に限らず、全ての言語は「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの能力が基本になっており、どれかが突出してよくできることはないと言われています。また、これらのうち、特に重要視されるのが「書く」能力と思われます。

主な理由は、他の3つの能力は録音録画すれば証拠となりますが、「書く」は、どのような媒体でも文章として残るからです。したがって、盗作や著作権違反等を常に意識して作成しなければなりません。

語彙力が乏しいと幼稚な文章を作成し、恥をかかなくて済むだけでなく、場合によっては訴訟問題となります。皆さんの一生を決めるエントリーシートや履歴書は、その人の人となりがわかる方法として、多くの企業が昔から採用しているのはそのためです。さらに、入社後は対外メールやチャットも文章です。

一方、海外では、より一層「書く」能力を重んじているようです。英語を例にすると、日本人が苦手な定・不定冠詞や複数形でさえ指摘されます。

古くは明治初期から「読み・書き・そろばん」は学校教育の根幹です。「そろばん」は現在ではコンピューターに代わっていますが、それも言語が必須です。

表現豊かで美しい日本語を含む言語とその旋を大切にしてください。



● 情報基盤センター

情報基盤センター棟がリニューアル

情報基盤センター長 川本 真一

2024年3月に情報基盤センター棟の改修工事が終わり、第1演習室も新しくなりました。今後も未永く“きれいに”使っていただけることを期待しています。共同利用施設では、利用者はルールを守ることに加え、モラルやマナーも問われます。他の利用者が気持ちよく使えるよう、適切な利用をお願いします。

新しくなった第1演習室および図書館の建屋にある第2演習室は、授業や実験実習で使用していること多い教育用施設です。しかし、第1・第2演習室が開いていて授業等に使用していない時間帯は、本校学生の学習環境として開放されています。各演習室の開室時間は異なりますが、放課後などに授業の予習や復習、レポート作成のほか、コンピュータを活用した自学自修にも使っていただけます。コンピュータを使って“作ってみたいもの”はありませんか？

ルールの範囲内で学校にある資源をいかに活用するか、学校で過ごす時間を無駄にしない選択肢の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。



● 国際交流室

年間100人の学生を海外に!

国際交流室長 熊谷 健

海外語学研修を再開して1年以上が経過した。1週間の短期研修において、令和4年度3月に26名、令和5年度夏には30名、ともにロサンゼルスで研修を行い、令和5年度春3月には場所をオーストラリア・ケアンズに変えて、30名で実施した。希望者も実に多く、毎回抽選漏れの学生が出ている状況を踏まえ、今年度は夏(9月)・春(3月)とも定員を40名とした。この1週間の研修を3年生までの低学年用と設定し、今年の夏は定員20名で高学年海外語学研修も再開することとなった。場所は語学研修のメッカであるフィリピン・セブ島である。この4年生以上対象の語学研修は3週間の英語強化合宿というイメージである。これによって、年間100人の学生が海外を経験することとなる。高専機構本部が推し進める「グローバルエンジニア育成事業」により、留学生のサポートを含めた、キャンパスのグローバル化と共に、海外経験者の人数も飛躍的に増やす試みを奨学金等で後押ししている現状である。



● ダイバーシティ推進室

ダイバーシティ推進室から

ダイバーシティ推進室長 櫻岡 広

「ダイバーシティ」とは何でしょうか？最近では何でもかんでもカタカナにして、もう少し日本語を大切にしろよと思うことが多いですが、「多様性」という意味です。麗澤大学・木谷宏教授の定義では、「外見上の違いや内面的な違いにかかわらず、すべての人が各自の持てる力をフルに発揮して、組織に貢献できるような環境を作ることであり、人種、国籍、言語、性別、年齢、容姿、障害の有無などの外見上の違いだけでなく、価値観、宗教、生き方、考え方、生活、性的指向、趣味、好み、働き方、さらには時間制約といった様々な内面的違いや個人の事情をも受容することである。」としています。

ただ、これは日本国憲法第14条に書かれていることと同じように思います。第14条の主語の「すべて国民は、」を「すべて人は、」に置き換えると上の定義と同じであるように思います。「ダイバーシティ」とは、新しい概念のようであるけれども、古くから人間が求めているものなのではないでしょうか。逆に言うと、日本は理念を掲げているけれども、それを実現できていない国、ということもできます。

異性・異国人・異人種・異宗教といった、自分と違うことを認められる「寛容性」。多くの人がこれを持つことが、「ダイバーシティ」推進の第1歩だと思えます。



各施設から

● インターンシップ支援室

体調管理もインターンシップの一つです。

インターンシップ支援室長 出口 米和

みなさん、こんにちは。令和6年度のインターンシップ支援室は昨年度に引き続き、J科の渡邊先生、学生課の松本さん・・・だけではなく、今年度新たに自然の石川先生にもご担当いただくこととなりました。よろしくお願いいたします。

インターンシップの実施につきまして、今年度からやっと「コロナ禍」の前と同じように実施できることを嬉しく思っています。ただ、世の中からコロナがいなくなった訳ではありません。参加するみなさんは体調管理に気を付けて参加をお願いします。企業での実習だけがインターンシップではありません。体調を整えることも「インターンシップの一つ」です。

インターンシップは普通の座学だけでは得られない貴重な学びの場です。自分が興味ある業種・企業の理解を深める。自己分析に役立てる。高専での勉強がどのように役立つのかを知る。良い機会となります。インターンシップで積極的に多くのことを学んでいただけたらと思います。

インターンシップ支援室では、参加する学生のみなさんの安全を最優先して取り組ませていただきたいと思います。ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



● 進路支援室

進路支援室より

進路支援室長 中山 和夫

進路支援室は、学生の進路に関する情報の収集を主に行っており、国公立大学の編入学試験の過去問を取り寄せ、図書館に5年分の問題を保管するようにしています。昨年度に行われた各大学の問題も、ほぼファイリングできています。例年、過去問の一部が紛失している場合があるようです。過去問を閲覧したら、速やかに元の場所に戻すようにしてください。過去問があるはずなのに図書館に保管されていない場合は、学生課までご連絡ください。資料を確認して、保管し直します。

また、今までの5年生が作成してくれた、「専攻科進学・大学編入学・就職試験受験報告書」が図書館と学生課に保管してあります。低学年の人でも、これから何を勉強していけばよいかなど参考になることがありますので、読んでみてください。現5年生の人はそれぞれの受験が終わったら、受験報告書を作成して担任に提出してください。面接（口頭試問）のみの試験も増えているので、皆さんの経験が後輩に活かされるようにしてください。



● 産学連携アントレプレナーシップ教育工房

夢の実現に近づく場所！

産学連携アントレプレナーシップ教育工房長 木村 清和

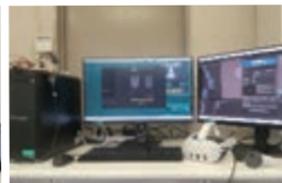
アントレプレナーシップ教育工房の「トライアルファクトリ」（学生食堂の2階）と「リアライズスタジオ」（情報基盤センター内）を活用して、夢の実現にチャレンジしてみませんか？この工房は学生の発案を具現化するために開設されました。

別の記事にもありますが、この工房を利用してVRゲームやVRチャットが好きな有志が集まって「第5回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2024」（DCON）にチャレンジしました。そのチームはリアライズスタジオを活用してVR空間において、手でものに触れたときに実際の手にその触感を伝えることができるグローブ型デバイス「コビキタシステム」を開発しました。それを販売し事業展開するプランをDCONで発表した結果、審査員のベンチャーキャピタリスト（投資家）から企業価値3億円の評価を得て、文部科学大臣賞を受賞しました。最初のころは手探り状態で活動していましたが、熱い思いを

バネに、工房にある3DプリンタやAIシステム開発PCを活用してチャレンジを重ね、見事試作品を完成させました。工房を積極的に活用した彼らは起業を目標として夢の実現に一步近づきました。まさに、工房は夢の実現に近づける場所と言えます。



熱融積層式3Dプリンタ



AIシステム開発PC



コビキタシステム

長野高専の寮生と交流

長野高専との寮生交流会を終えて

5K 小澤 雄太



長野高専の方と顔を合わせてまず感じたのは、寮生会のやる気が強いということである。現寮長、現副寮長だけでなく次期寮長まで参加されていた上、わかりやすく作り込まれたスライドの用意まで完璧であった。前日に渡された、それも入寮式向けのスライドで適当なプレゼンをした私との大きな違いである。互いのプレゼン、寮内の見学、懇談会などを通して、寮生活にたくさんの相違点があることがわかった。スケジュールや施設、ペナルティなど、どちらの高専にも優れているところ、改善すべきところがあったように感じた。いや、あちらの方が優れていたのだろうか、群馬高専学生寮の改善すべき点をいくつも発見できた。

長野高専の寮生会、寮務の皆様、ありがとうございました。

関東磐越地区化学フォーラム

初めてのポスター発表を終えて

4K 佐藤 俊広

今回、このような賞をいただいて大変うれしく思います。本フォーラムでは、自主的に行っていた研究について背景から実験操作・結果、考察までを1枚のポスターにまとめ、説明するという経験をしました。何もかもが人生で初めての経験だったため、とても緊張していましたが、ポスター発表ではたくさんの方が質問してくださり、とても嬉しかったことを覚えています。

今後も、今回の経験を糧にして研究を楽しみながら続けていこうと思います。最後になりますが、実験室を使わせてくださり、研究やポスター作成などでたくさんのおアドバイスをいただいた深澤先生と、共に研究をした川手くんにこの場をお借りして感謝を申し上げたいと思います。



全国高専宇宙コンテスト

超小型衛星ミッションの提案

生産システム工学専攻1年 井上 永遠

1月に開催された第3回全国高専宇宙コンテストに応募し、最優秀賞を受賞することができました。このコンテストでは、超小型衛星に実施させたいミッションを提案し、発表しました。それぞれのチームが異なるミッションを考案し、その実現方法や可能性についてまとめて発表しました。審査員は、JAXAをはじめとする外部有識者の方で構成され、コンテストとして、5分のプレゼンテーションの後に審査員からの質疑応答の時間が約10分あり、考案したミッションについての具体的なアドバイスを受けました。今回のコンテストを通して、超小型衛星のミッションを考える際に必要な要素を学びましたので、今後に生かしていきたいと思っています。



第5回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2024

群馬高専ユビキタスVRラボ、文部科学大臣賞・丸井グループ賞受賞

4C 平野 寛斗

DCONは、高専生が日頃培った「ものづくりの技術」と「ディープラーニング」を活用した作品を制作し、その作品によって生み出される「事業性」を企業評価額で競うコンテストです。現役のベンチャーキャピタリストの審査員がその事業性を評価し、最も「企業評価額」が大きいチームが優勝となります。

この度、我々群馬高専ユビキタスVRラボチームは、『AIを用いて仮想空間上の物体に触れられるグローブ』である『ユビキタスシステム』を開発し、DCONに挑みました。

初出場、短期開発期間、さらにAIに詳しい指導教員も居ない中、最終選考を突破し、本選では総合4位、さらに文部科学大臣賞と丸井グループ賞を受賞させて頂きました。

今回の受賞に関しては学校のアントレプレナーシップ工房をフル活用したほか、指導教員・技術職員・コーディネータの皆様、メンター様、そしてチームメンバーが一丸となって成し遂げられた成果だと考えています。

我々は、現在本気で起業と作品の製品化を進めており、それに伴い、学内外問わず参加者を募集しております！将来のツテになるような経験が出来ると思いますので、興味があればお気軽にご連絡ください！

E-mail : gunmadcon2023@gmail.com



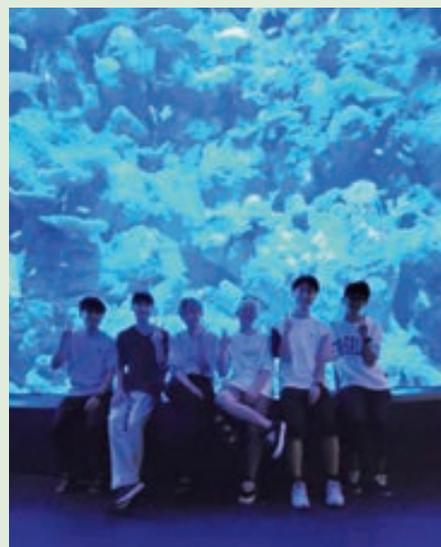
ケアンズ短期語学研修

ガチで危機感持ったほうがいいと思う

3K 中野 優信

海外行ったことない人、ガチで危機感持った方がいいと思う。それこそがお前がどう足掻いても変わらない理由だと思う。

いきなり上から目線でごめんなさい。少しだけ流行りに便乗してみました。ただ実際、海外には1度でも行ってみるべきだと思います。別に留学じゃなくただの観光でもいいし、僕みたいにオーストラリアじゃなくてもいいと思います。自分は1週間オーストラリアに行ってきましたが、想像以上に楽しく、とてもいい経験になりました。英語力もちろん上達したとは思いますが、一番変わったのは価値観だと思います。具体的には以前より色々なことに寛容になった気がします。僕自身英語が得意な部類ではないので現地で何度もミスしましたが、それで文句を言われたりしないし、むしろ理解しようとしてくれました。別にミスしても特に問題は無いです。大事なのは伝えようとする姿勢でした。英語に限らず失敗を恐れることはよくありますが、別に失敗してもいいのかもしれない。そう思えば色々なことにチャレンジできるし、様々な経験ができると思います。最後にこれを読んでも海外に興味が出ない人、厳しいって。



編集後記

学校広報担当2年目の自然の高橋です。昨年度は、群馬県立高校入試制度が変わるなど不穏な一年でしたが、なんとか乗り切った(?)ように思います。学校広報の大きな目的の一つは志願者確保ですが、なんだかんだでみなさんが活躍する姿を広報するのが一番かと思っています。中学生が惹き寄せられるような、楽しく充実した学生生活を送ってください！

(広報委員長 高橋 徹)